

情報共有 (4枚)

(非管理メモ)

H23.4.28①議事メモ rev0.doc Last printed 4/29/2011 8:15:00 PM

プラント状況 (本店レク) 議事メモ

日時：平成 23 年 4 月 28 日 (木) 11:00~11:50

場所：東京電力本館 3 階 ABC 会議室

先方：記者約 40 名 (カメラ 9 台)

当方：原子力・立地本部

原子力設備管理部

柏崎刈羽原子力発電所

本店広報部

配布資料：

- ・ 東北地方太平洋沖地震による影響などについて【4月28日 午前9時現在】
- ・ 福島第一原子力発電所 プラント関連パラメータ
- ・ 福島第一原子力発電所モニタリングカーによる計測状況 等
- ・ 集中廃棄物処理施設周辺 サブドレン水核種分析結果 (4/27 現在)

質疑：

- Q. 1号機の原子炉への注水について、10m³で継続して注水することを決定した理由と炉内の状況、また、今後の予定は。
- A. D/Wの圧力に注目している。昨日8時0.156MPa 本日6時0.125MPa、本日7時0.125MPaと徐々に下がってきている傾向があり、D/W圧力が落ち着いてくるか監視している。懸念していたT/B側への漏水については、水位の上昇、流水音ともに確認されていないので10m³での継続を判断した。D/W圧力は0.11MPa程度を目標として監視している。
- Q. 本日の何時に10m³継続を決定したのか。
- A. 本日10時の断面で判断した。
- Q. D/W圧力は下がり続けているという認識か。
- A. D/W圧力は下がり傾向を継続している。
- Q. 水漏れが確認できていないが、なぜD/W圧力が下がっているのか。
- A. 流量を増やしたことで原子炉の冷却が進んでいるのではないかと考えている。なお、大雨が降っていることと10m³注水を継続していることもあり、本日のロボットによる調査は延期。
- Q. パラメーターの温度変化の状況は。
- A. 本日6時給水ノズル部107.3、本日5時圧力容器下部98.5度
- Q. まだ圧力容器の下部まで水位は達していないということか。
- A. 現時点では格納容器の水位はまだよくわかっていない。現在、圧力容器の中に注水しており、原子炉水位は約10cm程上昇しているが、その後、変化が見えなくなった。

H23.4.28①議事メモ rev0.doc Last printed 4/29/2011 8:15:00 PM

- Q. 地下に壁を作るとの情報があるが、現時点の検討状況を教えていただきたい。
- A. 検討しているのは事実。板を挿入するとか、コンクリートの壁で囲い込むとか決定はしていない。いずれにしても地下水からの環境への放出については拡大を防止する必要があるので具体的には決まっていない。工事の発注もまだ行っていない。
- Q. 4号機使用済燃料プールの状況は満水にしてプールからの漏水等を検討することだったが、何か確認されたことはあるのか。
- A. コンクリートポンプ車に付けたカメラでの確認ができていないので現時点の状況はまだわからない。
- Q. D/W温度の低下による圧力の低下について、窒素注入はどの程度効果があるのか。
- A. 定量的なことは申し上げにくいですが、現在注入している 28m³/h を増やせば圧力を上げることはできる。
- Q. 窒素注入をD/W圧の調整のために実施するものではないということか。
- A. 窒素注入は。格納容器内の水素分圧をあげないことが目的。
- Q. 大雨の影響はどのようなことがあるのか。
- A. 原子炉建屋内への雨水の浸入等がありうる。また、周辺に降った雨についてもサブドレン内から建屋内に浸入してくると言うこともあった。
- Q. 降水量はどのくらいあったのか。
- A. 通常であれば発電所のモニタリングシステムで降水量が測れるが、現時点では故障しているため、気象庁の降水予報を活用している。
- Q. どのくらいの降水量になれば作業をやめるのか。
- A. クリコートの散布などは雨天では中止している。また、既に設置済みだが、高汚染水のホース設置作業などは屋外の作業になるので雨天では中止していた。
- Q. 風による影響はどのようなことがあるのか。
- A. 建屋周辺に落ちた誇り等が舞い上がり、再度確認してしまう懸念等があるが、昨日、今日ではモニタリング値に大きな変動はない。
- Q. 昨日公表された土壌分析結果において、アメリカシウムとキリウムが出ていることはどのようなことを意味するのか。
- A. 以前のサンプリングの結果、プルトニウム 239、240、241 の組成域の比率から推定すると、今回の事故由来であると推定している。今回、それを確かめるためにもアメリカシウムとキュリウムを分析してみた。これらは、通常、天然に存在する核種ではなく、且つ、大気核実験でも発生しづらいものなので、今回の事故由来のものと考えている。

H23.4.28①議事メモ rev0.doc Last printed 4/29/2011 8:15:00 PM

Q. マグネシウムやキュリウム自体は問題ないのか。

A. アルファ線各種なので、体内に取りこまなければ特段安全上問題はないと考えている。

Q. 敷地外に広がるおそれはないのか。

A. 重い核種なので、広範囲には広がっていないと思うが、敷地外については文部科学省が調査しているかもしれないので確認させていただく。

Q. 雨天時、クリコート散布箇所に雨水は浸透するのか。

A. 固まってしまえば雨の影響はないと考えている。

Q. 使用済み燃料プールの天井は壊れているのか。燃料棒を取り出すことは出来るのか。

A. 少なくとも1, 3, 4号機については、天井クレーンを使えない状態。燃料交換機については瓦礫がかなりあることから、現状では動かせないのではないかと。2号機は建屋が維持されているので、詳細はわかっていないが、天井クレーン、燃料交換機はそのままの形で存在しているのではないかと。

Q. 共用プールはどうか。

A. 使用可能であるとの確認が出来ている。

Q. 1Fの津波対策として防波堤を作ることは検討されているか。また、検討されているのであれば、資材の発注状況はどうか。

A. 津波対策は重要であると認識しており、今後の余震に対する津波からどのように福島第一原子力発電所を守るかという観点から、コンクリートで防波堤を作るのか、土嚢のようなもので一時的に時間を稼ぐ等様々な方法について検討しているところ。資材発注には至っていないと思うが、詳細は確認させていただきたい。

Q. ロボットによる建屋監視を延期するとのことだが、明日になるということか。また、冠水作業の本格着手も明日以降にずれ込むと言うことか。

A. ロボットについては明日以降実施したいと考えている。フラッディングの着手については、引き続きパラメーターを監視していきたい。現時点では本格着手についてはっきりお示しできる状況にない。

Q. 先ほどNISAの会見で、効率循環型冷却装置の設置について言及しているようだが、昨日のゼオライトを使った汚染除去装置のことなのか、設置場所と設置時期についても教えてほしい。

A. 2号機の止水口にゼオライトを含む土嚢を投入し、試験中だが、その評価については検討中。NISAで言及した効率循環型冷却装置に関しては確認させてほしい。

Q. 2名の女性作業員の被曝線量について確認中であったが、最新情報は。また、なぜこの2名の確認が遅れているのか。

A. 結果については1週間以内にはお示しできると思う。この2名だけが遅れているわ

H23.4.28①議事メモ rev0.doc Last printed 4/29/2011 8:15:00 PM

けではなく、昨日発表させていただいた時点で2名の結果が出ていなかったもので、ホールボディカウンターの計測とともに、免震重要等に滞在していた期間や作業内容について聞き取りをしているものと思われる。

Q. この2名のホールボディカウンターを実施した順番が最後だったのか。

A. 確認させてほしい

Q. 福島事務所が1号機への注水量について、10m³から14m³に流量を上げるかどうかの判断は明日の朝10時とっているようだが、本日夕方ということもあるのか。

A. 本日夕方にパラメーターを見てから、場合によっては上げる判断をするかもしれないが、現時点では何とも言えない。また、このまま継続することもあり得る。

Q. 2, 3号機にの窒素封入について今月中という話だったが、どうか。

A. 継続して検討しているが、窒素注入ラインが確定できておらず、おそらく今月中の実施は難しいのではないかと考える。

Q. 2, 3号機で窒素注入ラインが確定できていないのはなぜか。

A. 窒素注入装置の置き場所が確定できていないことや、建屋内部の状況も把握できていないことなど。特に3号機は周囲に瓦礫が散乱しており、確認が難しい。

Q. 1号機ではなぜ注入が出来ているのか。

A. 1号機の注入口は原子炉建屋の山側にあり、アクセスが良好で確認が出来た。

Q. AREVA 社の水処理設備が処理できる核種は。

A. 現時点ではヨウ素とセシウムが処理可能と聞いているが、その他の核種については確認させてほしい。

Q. 新しい線量マップを見せてほしい。

A. 準備したいと思う。

Q. 30ほどあると聞いている海外からの支援リストを公開していただけないか。

A. 日々の報告の中でご紹介すると言うことでどうか。

Q. 会社名だけでも出していただけませんか。

A. 検討させていただく。

以上